

3月議会に期待する

地方政
クリエイト

伊藤秀昭

◎地方創生元年
来年度予算案を審議、議決する3月定例会が2月18日開会の豊川市議会を皮切りに東三河各市町村で始まりました。各首長の施政方針が示され、代表質問や一般質問、予算委員会などで審議される大事な議会。それだけに各議員諸氏の奮闘を期待したい。

昨年末、政府は日本全体の人口減少の展望を示した「長期ビジョン」と、地方創生のための今後5年間の「総合戦略」を決めました。それに伴い各自治体も、誰のものかを考えれば、決して役所が作

りに東三河各市町村で始まりました。各首長の施政方針が示され、代表質問や一般質問、予算委員会などで審議される大事な議会。それだけに各議員諸氏の奮闘を期待したい。

◎地方議会の役割
地域の実情を最もよく知るのは、そこで暮らす人々であり、地方創生には、地方が自ら考え方を持った施策を進めることが欠かせない。これから本格化する地域の戦略づくりで大事になるのが、住民の声を代弁できる地方議員の役割であり、その議論の場である地方議会の役割です。

◎それぞれの課題
各市町村の新年度予算案が発表されました。豊橋市においては「子育て支援を充実させるとともに、彼らが大人になってからも、地元で働く街にする」とを念頭に置いた予算としています。田原市は法人市民

と質が問われている時代です。今まで地方議会の知恵と質が問われている時代です。

◎豊橋市では合併後最大規模の予算と
広域連合として、新年度か

なり、地域創生室を新設し、人口減少対策や空き家利活用起業化支援などに対応するとしています。

今春、県立豊橋工業高校が春の選抜に出場します。豊橋市の高校としては1953年春の時習館高校以来、実際に62年ぶりの快挙です。

そして今春、豊橋工業高校の甲子園出場です。関係者の皆様の長い間の懸命な努力に敬意を表しながら、その快挙を心から喜んでいます。

これらを原資に当会で、教育費の審議の中で、「豊橋から甲子園へ」と訴え続け

るものではありません。

豊川市では、豊川

市では、豊川

市では、豊川